

鉄道技術推進センターの活動

Activities of Railway Technology Promotion Center

概要

鉄道技術推進センターは、鉄軌道事業者、鉄道関連企業などの各社が協調・連携し、会社や技術分野の垣根を超えて共通する技術課題を解決するための場として、平成8年7月に設立されました。

全国の鉄軌道事業者、鉄道関連企業などの方々と協働し、「技術力の維持・向上」「技術の体系化と課題解決」「技術情報サービス」に関する活動を展開しています。

会員数（平成30年5月現在）

第1種会員（鉄軌道事業者）	185
第2種会員（鉄道関連企業）	188
第3種会員（学校等）	13
計	386

主な活動内容

技術力の維持・向上

■技術支援活動

会員の皆様が抱える鉄道技術に関する課題（疑問、悩み）等を解決するための技術支援活動を行っています。平成29年度は、会員の技術的課題に関するご相談132件（現地調査37件含む）に対応するとともに、主要都市での講演会の実施等、会員の技術力の維持・向上に寄与する活動を展開しました。

特に重点をおいた地域鉄道への技術支援については、現地調査等が18社22件、文献・研究室の見解等の提示が40社66件となりました。



トンネルの変状に関する現地調査の様子

	現地調査等	文献・研究室の見解等の提示	計
地域鉄道事業者	18社22件	40社66件	50社 88件
大手、公営事業者	11社15件	17社25件	21社 40件
コンサル、メーカー等	—	3社 4件	3社 4件
合計	29社37件	60社95件	74社132件
28年度実績（参考）	23社33件	65社108件	72社141件

地域鉄道事業者に対する技術支援の実施状況



分野別技術支援の実施件数

<平成29年度・地域鉄道に対する技術支援の実施状況>

技術力の維持・向上

■教材作成および講習会の開催

平成29年度は中堅技術者向け教材「事故に学ぶ鉄道技術」（ヒューマンファクター編）を発売しました。

また、国土交通省と連携し「鉄道橋りょう等の維持管理に関する講習会」、技術基準事業の成果を取りまとめた「鉄道駅上家に関する講習会」を開催しました。

■鉄道設計技士試験

鉄道技術者の鉄道設計業務を総合的に管理できる能力を証明する資格試験を、毎年1回、鉄道路木・鉄道電気・鉄道車両の3分野について実施しています。

技術の体系化と課題解決

■技術基準の原案作成と設計ツールの整備
国からの委託により鉄道構造物等の設計・維持管理に関する技術基準の原案、実務者向けの設計ツール等を作成しています。

【平成29年度の成果物の例】

- ・交流磁界の生体誘導量評価ガイダンス

■技術課題に対応した調査研究

会員に共通する技術的課題を選定し調査研究を実施しています。

【平成29年度の成果物（報告書）の例】

- ・車輪の損傷・形状変化等に関する調査研究
- ・地方鉄道における電車線設備検査・管理業務の軽減方法に関する調査研究
- ・ワンマン運転の実施に関する調査研究

技術情報サービス

■鉄道安全データベース

事故等の情報を充実させるため、運転事故、インシデント、輸送障害等のデータ入力を継続的に行うとともに、平成27年度鉄道事故統計分析報告書の作成を行いました。

■会員用ホームページ

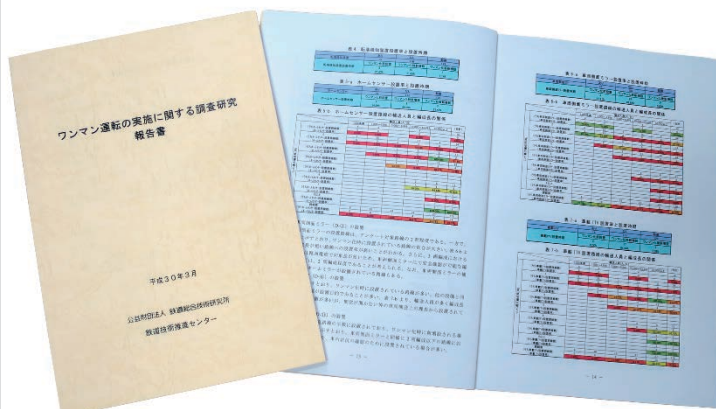
会員用ホームページを通じて、電子図書館システム、安全データベースおよび推進センターの成果物等を提供しています。また、携帯端末等からもアクセスが可能な会員用ホームページライトおよび公開ホームページも提供しています。



鉄道橋りょうの維持管理講習会の様子
(大阪会場)



事故に学ぶ鉄道技術 ヒューマンファクター編



ワンマン運転の実施に関する調査研究報告書

推進センターホームページの種類

コンテンツの種類等	公開ホームページ	会員用ホームページライト	会員用ホームページ
電子図書館	—	○	○
安全データベース	—	—	○
センター成果物	概要	全文	全文
講演会資料	概要	全文	全文
技術支援窓口	—	○	○
センター報(隔月)	○	○	○
接続方法	ID・パスワード不要	ID・パスワード要	専用プログラム要
接続箇所	どこからでも可能	どこからでも可能	登録端末のみ